保証書

電気エアーポット 保証書

持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無料修理致します。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、お客様宅での出張修理や郵送などで製品を送られた場合は、出張や郵送などに要する実費を申し受けます。

型名	CW-PC22/CW-PN22	修理メモ
※お客様	お名前	
	ご住所 〒 ☎	
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所 ☎	
保証期間（お買い上げ日より） 本体 1年		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1.ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理が依頼できない場合は、弊社のお客様ご相談窓口までお気軽にご相談ください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
（ト）消耗部品の交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

長年ご使用の電気エアーポットの点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか

●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる。
●保温ランプに切りかわらないときがある。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI

家庭用

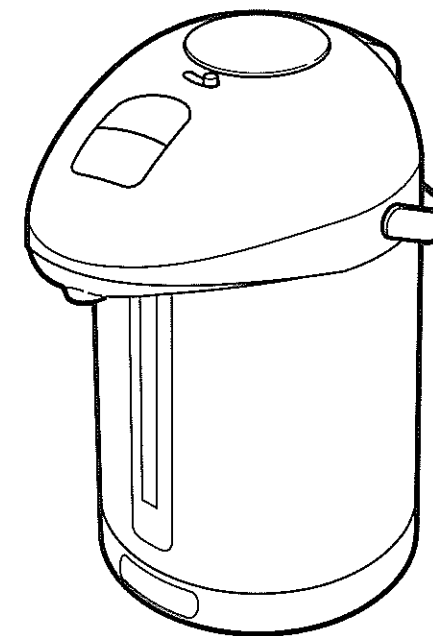
電気エアーポット

型名 CW-PC22/PN22 型 取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

もくじ

※この商品は水をわかして保温するタイプで沸とうはしません。

保証書つき

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用の前に

※ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性がある内容を表しています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容を表しています。

記号について

△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
下図の場合は、「感電注意」を表します。

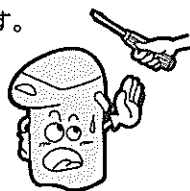
⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
下図の場合は「分解禁止」を表します。

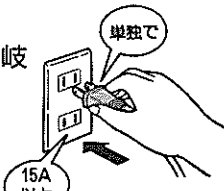
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
下図の左は「差込みプラグを抜く」右は必ず実行していただく「強制」内容です。

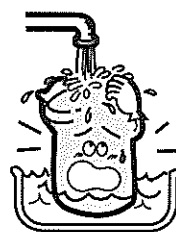
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
※お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合があります。

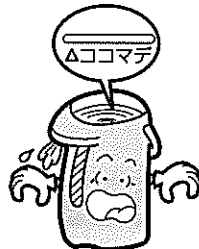
⚠ 警告

■改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理をしない

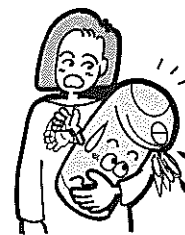
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

■定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

■水につけたり、水をかけたりしない
■流し台など水にぬれた場所に置かない

ショート・感電の恐れがあります。

■満水表示以上の水を入れない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

⚠ 警告

■本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない

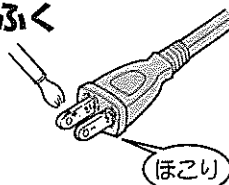
プッシュボタンロックを（ロック）にしても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

■蒸気口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

■子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

■差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

■ポットを転倒させない

プッシュボタンロックを（ロック）にしても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止

■電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

■マグネットプラグをなめさせない

感電やけがの原因になります。
特に乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。

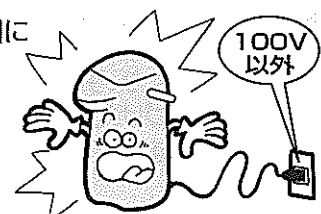
■上ぶたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

■交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

100V以外

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

■蒸気口に手を触れない

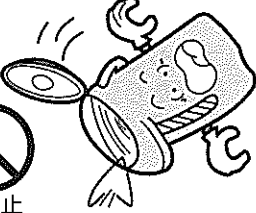
やけどをすることがあります。

特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

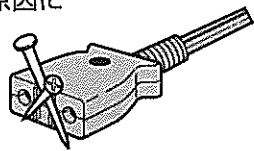
接触禁止

■上ぶたをつけたまま残り湯をすてない

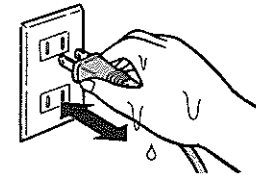
上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。

禁 止

■マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない

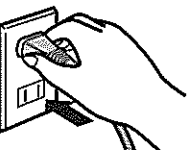
感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

■ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

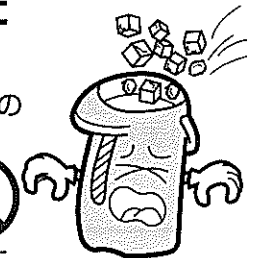
感電やけがをすることがあります。

ぬれ手
禁 止

■差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

差込みプラグをしっかりと差し込む

■氷を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。

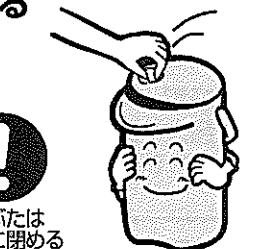
禁 止

■水以外の物をわかさない

お茶、牛乳、酒などはわき上がるときにふき出してやけどの恐れがあります。

禁 止

■上ぶたは確実に閉める

倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

上ぶたは確実に閉める

■電源コードを傷つけない

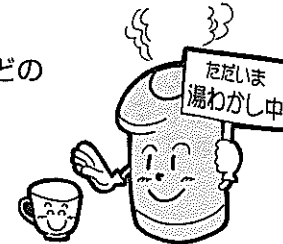
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止

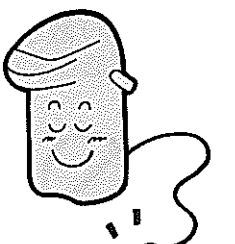
⚠ 注意

■湯わかし中および湯わかし直後は湯を注がない

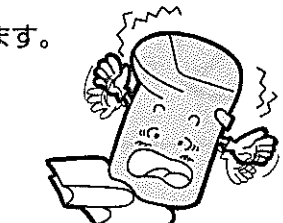
湯が飛び散りやけどの原因になります。

禁 止

■使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

差込みプラグを抜く

■不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。

禁 止

■差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く

感電やショートして発火することがあります。

差込みプラグを持って抜く

■使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

やけどの原因になります。

接触禁止

■上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。

接触禁止

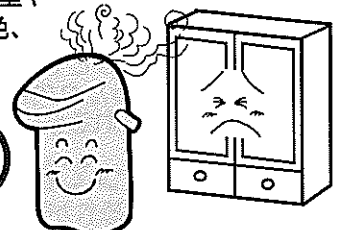
■お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お手入れは冷えてから

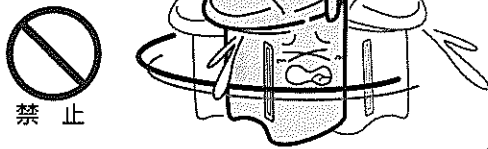
■壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁 止

安全上のご注意 つづき

⚠ 注意

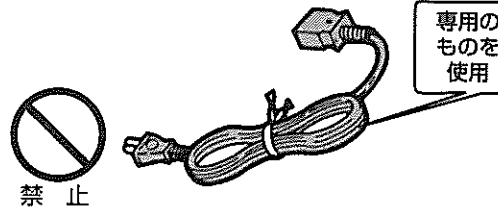
■出湯中に本体を回さない

湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

■本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない

上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。

■専用の電源コード以外は使用しない

■電源コードは他の機器に転用しない

故障、発火の恐れがあります。

お願い

■空だきはしない 火災・故障の原因になります。

■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない

故障・破損の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する

変色や変形の原因になります。

■パネル部には湯がかからないように注意する 故障の原因になります。

■水以外の物(氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など)は入れない

ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。
また水路がつまったり内容器の焦げつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。

■本体を引きずって移動しない

机などに傷がつく恐れがあります。

■熱源のそばやIH調理器の上で使用しない

火災・故障の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる

凍結による故障の原因になります。

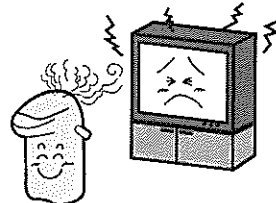
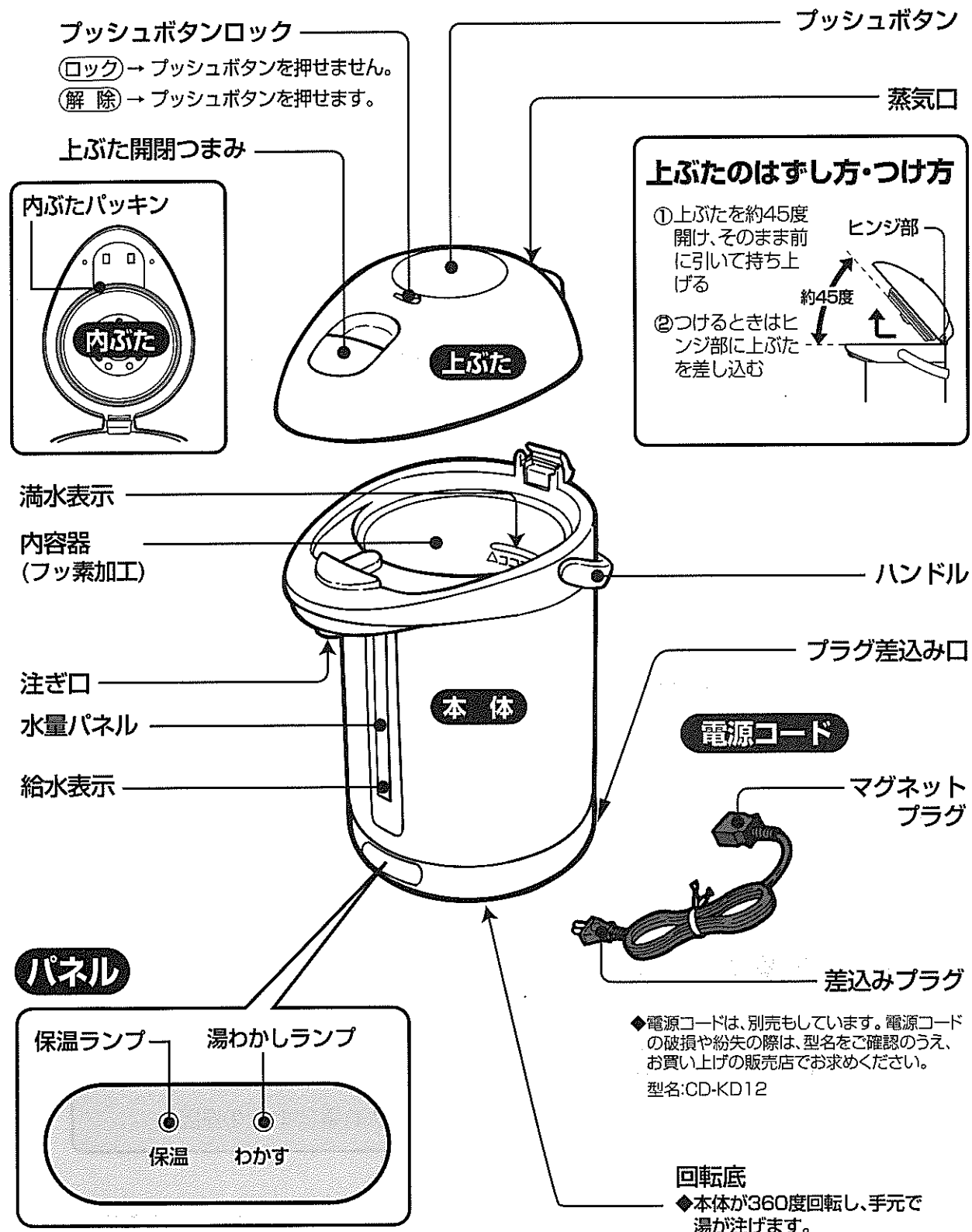
■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない

蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

■ラジオなどの近くで使わない

ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

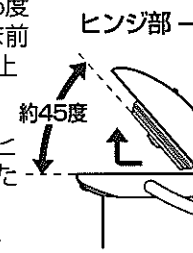
各部のなまえ

- プッシュボタンロック
  - (ロック) → プッシュボタンを押せません。
  - (解 除) → プッシュボタンを押せます。
- プッシュボタン
- 蒸気口
- 上ぶた開閉つまみ
- 内ぶたパッキン
- 内ぶた
- 上ぶた

上ぶたのはずし方・つけ方

①上ぶたを約45度開け、そのまま前に引いて持ち上げる

②つけるときはヒンジ部に上ぶたを差し込む

ヒンジ部　約45度

- 満水表示
- 内容器(フッ素加工)
- ハンドル
- 注ぎ口
- 本体
- 水量パネル
- 給水表示
- プラグ差込み口
- 電源コード
- マグネットプラグ
- 差込みプラグ

◆電源コードは、別売もしています。電源コードの破損や紛失の際は、型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
型名:CD-KD12

パネル

- 保温ランプ（保温）
- 湯わかしランプ（わかす）

回転底

◆本体が360度回転し、手元で湯が注げます。

正しい使い方

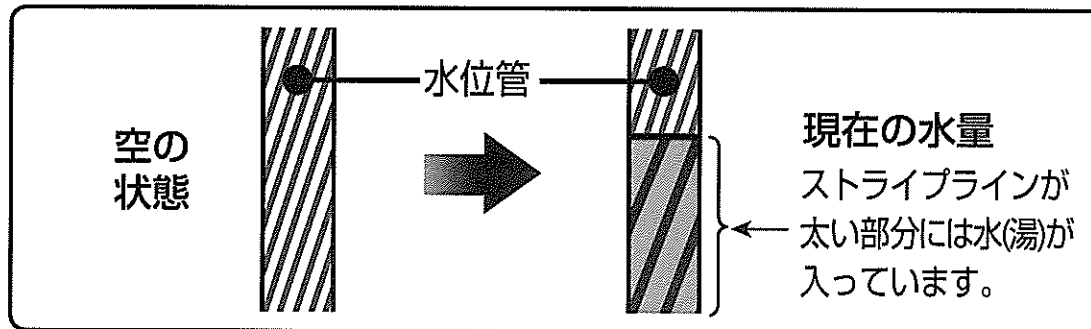
初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯をわかし、プッシュボタンを数回押した後、残り湯をすててからご使用ください。また、使い始めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 上ぶたを開け、水を入れる

■水は水道の蛇口から直接入れず、別の容器で入れる
(あふれるとショート・感電の恐れ)
■満水表示以上、水を入れない
(湯がふき出し、危険)
■本体およびパネルに水がかからないように注意する
(感電・故障の原因)

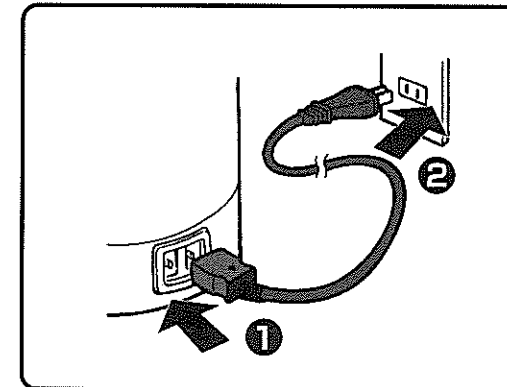
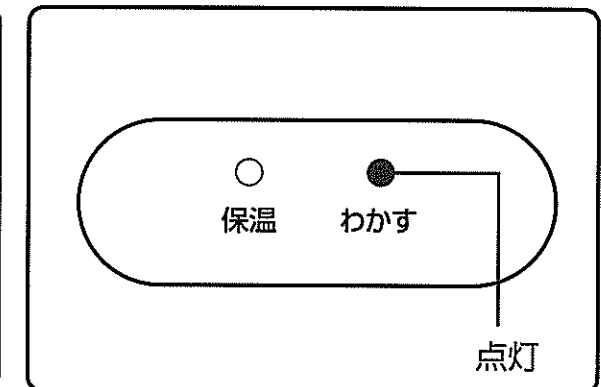
上ぶたを閉める

プッシュボタンロックを (ロック) にする
- 上ぶたは「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

■水量により水量パネルの水位管のストライプラインの太さがかわります。

■空だき防止について

給水表示以下でプラグを接続した場合、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいて、湯わかしヒーターへの通電を止めます。
(湯わかしランプが消灯、保温ランプが点灯)

処置 プラグを抜いて、内容器が十分冷めてから水を入れる(やけどの原因)

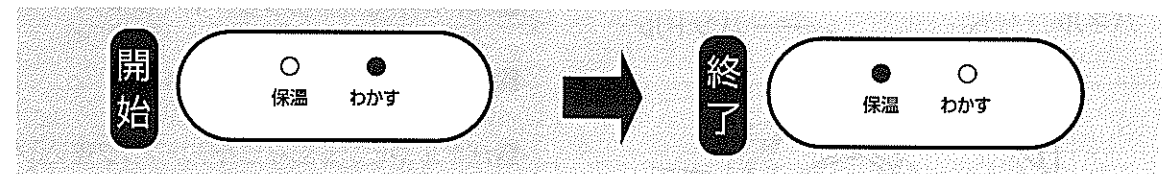
2 プラグを接続する(湯わかし開始)

プラグを接続すると、自動的に湯わかし開始

湯わかしランプが点灯

■やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- 湯わかしランプ点灯中は上ぶたを開けない
- 蒸気口にふきんをかけない
- 湯わかし中は湯を注がない
- 蒸気口から出る蒸気に注意する

※ハンドルが蒸気口の真上にこないようにしてください。
ハンドルに蒸気があたり熱くなります。

3 保温する

湯わかしから保温に切りかわると保温ランプが点灯します。

湯わかしが終わるまでの時間	約14分

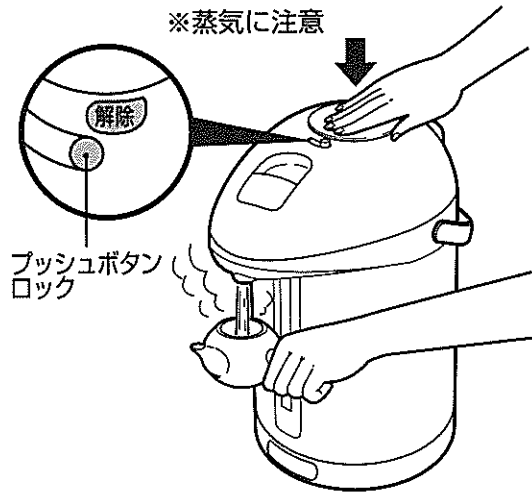
(室温20℃、水温20℃、満水)

■保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。(自動的に湯わかしを始めます。)
つぎ足す水の量が少ないと、湯わかしを開始しない場合があります。

※水をつぎ足す場合、蒸気に注意する (やけどの恐れ)
※上ぶたは勢いよく閉めない (湯がふき出しやけどの恐れ)

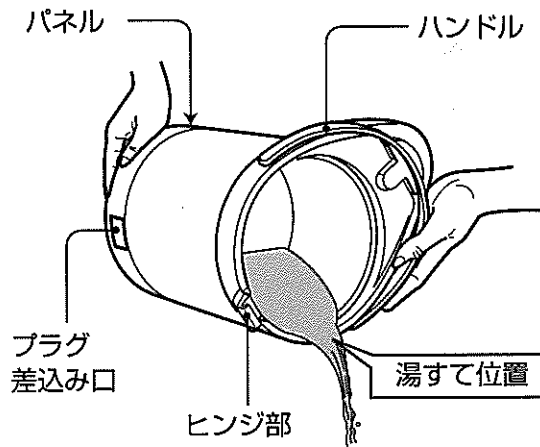
正しい使い方 つづき

4 湯を注ぐ

プッシュボタンロックを（解除）にし、プッシュボタンを押す

■内容器内の湯が少なくなったとき、プッシュボタンを強く押さない（注ぎ口から湯が飛び散り、やけどをする恐れ）
■湯を注いだ後や湯わかし時には必ずプッシュボタンロックを（ロック）にする
■本体を回すとき電源コードが巻きつかないように注意する（転倒の恐れ）

※少量の湯をご利用の場合、1杯目の湯は、ぬるくなることがあります。
※湯わかし直後は勢いよく湯が出ますので、ご注意ください。
※湯わかしおよび保温中は本体が熱くなります。

5 残り湯をすてる

①プラグを抜き、上ぶたをはずす
②下図のように両手で本体を持つ
（すべらないようにしっかり持ってください。）
③内容器の湯すて位置から残り湯をすてる

■ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たない（ショート・感電の恐れ）
■上ぶたは必ずはずして湯をすてる（上ぶたがはずれ、やけどの恐れ）
■パネルやヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意する（やけどや故障の原因）
■注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意する（やけどの原因）
■1日1回は残り湯をすてる（水アカ付着の原因）

お手入れ

※必ずプラグを抜き、残った湯をすて本体が冷めてからお手入れしてください。

内容器

赤さび状の斑点（もらいさび）・乳白色・黒色などの変色・膜状のものは水の成分（ミネラル分）によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。
衛生上問題はありませんが、定期的（1～3ヶ月に1回）にクエン酸洗浄を行ってください。
※使用される水質や湯わかしの回数によって汚れの状態は違ってきます。

クエン酸洗浄のしかた

①コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かす
②内容器に水を入れ、①のクエン酸を溶かしたぬるま湯を入れる
③プラグを接続して、湯をわかし、約1～3時間保温する
④プラグをはずして湯をすてる
⑤クエン酸のにおいを取るために水だけをわかし、湯をコップ1杯程度吐出させたあと、残りの湯をすてる

※水は満水表示以上入れすぎない（ふきこぼれる恐れ）
※クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった場合は、クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。

◆洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。
◆汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

途中でクエン酸洗浄を取り消すときは
プラグを5秒以上抜く

◆泡立ち、ふきこぼれ防止のため、弊社のポット内容器洗浄用クエン酸（ピカポット）をお使いください。（別売）
洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。　型名：CD-KB03（30g×4包入り）

上ぶた・本体（外装）

よく絞ったふきんで汚れをふき取る

電源コード

乾いたふきんで汚れをふき取る

内ぶた

やわらかいスポンジで洗い、水ですすぐ

お手入れ つづき

ご注意とお願い

■お手入れはこまめに

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器に付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 内容器はフッ素加工をしていますが長期間お手入れしないと変色が取れにくくなります。

■製品のまる洗いやパネル部には絶対水をかけない。また、底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させない (内部に水が入り、故障・さびの原因)

■次のものは使わない

- 洗剤 (においが残る原因)
- 食器洗い機や食器乾燥器 (変形の原因)
- ベンジン・シンナー (樹脂が劣化する原因)
- みがき粉、ナイロンたわし、金属たわし、金属ヘラなど
  (内容器・内ぶたなどの傷つきやフッ素被膜のはがれの原因)

内ぶたパッキンの交換について

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

内ぶたパッキンのはずし方

①3本のネジをゆるめる

※ネジは上ぶたからはずさない
　万一はずれた場合、ネジをなくさない

②内ぶたパッキンをはずす

内ぶたパッキンのつけ方

①内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む

②ネジを確実に締めつける

※内ぶたをはずした場合は正しくセットしてください。

部品名：内ぶたパッキン　部品番号：62-4908
交換の際は、製品の型名をご確認の上、お買い上げの販売店でお求めください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒した時に、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

「故障かな？」と思ったときは

◎修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともにお買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

症状	原因	処置
湯がわかない	プラグがはずれている	プラグを差し込む
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
湯が出ない・出にくい	上ぶたが閉まっていない	上ぶたを確実に閉める
	内ぶたパッキンが正しくセットされていない	内ぶたパッキンを正しくセットする (P.11「内ぶたパッキンの交換について」参照)
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
	内容器に水アカなどがついている	内容器をお手入れする (P.10「お手入れ」参照)
	内ぶたパッキンが傷んでいる	内ぶたパッキンを交換する (P.11「内ぶたパッキンの交換について」参照)
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れている	水を満水表示以下に減らす
内容器にさび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	クエン酸で内容器をお手入れする (P.10「お手入れ」参照)
お湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
湯わかし中に大きな音がする	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	

「故障かな?」と思ったときは つづき

症状	原因
湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。
	使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
本体が熱くなる	湯温や室温が高い場合は本体外側が約55℃になりますが異常ではありません。

上ぶたの樹脂部品および内容器のフッ素加工について

◆上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有償修理)してください。

◆内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

型名	CW-PC22/PN22
定格容量	2.2L
定格	交流100V 870W 50/60Hz
平均保温時消費電力	約32.5W
温度ヒューズ	133℃
電源コード	1.2m
給湯方式	手動エアー方式
外形寸法(cm)	幅約20.5×奥行約26×高さ約31.5
質量(コード含む)	約2.0kg

◆平均保温時消費電力とは、1時間あたりを示し、室温20℃で満水保温の場合です。
◆高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
◆日本国内交流100V専用(定格100V以外の電源では使用できません。)
◆特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

アフターサービスについて

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い。
必ず「販売店およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

3 修理を依頼されるとき
《保証期間中》製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。
《保証期間を経過しているとき》お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

4 弊社は、この電気エアーポットの補修用性能部品を製造打切後5年保有しています。
◆性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金の仕組み
◆修理料金は、技術料、部品代などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

6 上記の内容についてのお問い合わせ、ご質問がございましたら、弊社のお客様ご相談窓口までご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

弊社製品についての部品の購入、修理のご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店へお申し出ください。
新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法・部品の購入などのご相談、転居されたり贈答品などで販売店に修理の依頼ができない場合は、「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

0570-011874
市内通話料金でOK ナビダイヤル　市内通話料金でご利用頂けます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel 06-6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ Fax 06-6356-6143
ご愛用の製品の「品番・お問い合わせ内容」および、お客様の「お名前・ご住所・お電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせ願います。

消耗品・部品のお求め方法

●ご購入になられた販売店でご購入(お取り寄せ)できます。
●消耗品・部品については、こちらでご注文できます。
http://www.zojirushi-fresco.com/
ご不明な点は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。